



奈良県無線・救護赤十字奉仕団

(左) 副委員長 田仲 威幸さん
(中央) 委員長 古田 充 さん
(右) 顧問 小野 昭 さん



◆設立の目的◆

もともと県内の無線技士で集まって活動をしていました。その中で他府県に無線技士で構成された赤十字奉仕団があることを知り、我々も赤十字の奉仕団として活動しよう!ということになり、昭和47年に無線奉仕団の設立に至りました。

無線奉仕団として活動にあたり、無線はあくまで情報収取における一手段であり、その無線を用いた救護をおこなうのが目的であることを踏まえ、平成25年に現在の無線・救護赤十字奉仕団に改称しました。無線を使った活動のみをおこなうのではなく、一奉仕団として、協力できることは協力しています。

現在11名所属しています。



◆活動のエピソードなど◆

古田さん:毎週日曜日の午後8時30分からの通信訓練で、和歌山県や兵庫県の団員ともやり取りをする中で、そのやり取りを聞いた一般の無線技士から無線奉仕団について聞かれことがあります。

田仲さん:日赤本社へ行き、多くの理事や評議員などの人と話せたことです。

小野さん:愛・地球博の国際赤十字・赤新月パビリオンでスタッフとして来場者をアテンドしました。そこで、視覚障がい者をアテンドする際、同じくスタッフとして来ていた他の点訳奉仕団がその場で点字を作成しているのを見たときに、赤十字奉仕団の凄さを知りました。

★活動内容★

第4ブロック合同災害救護訓練での通信訓練や、奈良マラソンのゴール地点での救護活動などを行っています。また、毎週日曜日の午後8時30分から約30分、団員同士で通信訓練を実施しており、これを10年以上おこなっています。台風時は1時間に1回通信をおこない、情報共有をしています。いまでは、一般的のアマチュア無線技士にも知っていただいており、無線・救護赤十字奉仕団についてお声がけいただくこともあります。



★奈良県無線・救護赤十字奉仕団にしかない!★

メンバーの入れ替わりが少ない分、全員が和気あいあいとしていることです。

また、他の無線奉仕団と違い、活動の範囲を定めていないため、様々な範囲において活動可能なども特徴の一つです。もちろん団員のできる範囲内での活動にはなりますが、要請があればどんなことでもできるのが他の奉仕団とは違うところです。